

総務・警察常任委員会 管外調査
令和4年11月15日(火)～16日(水)

1 ひのさと48(福岡県宗像市)

【調査事項】

地域課題解決に向けた「さとづくり48」プロジェクトについて

【調査目的】

少子高齢化や空き家等の地域課題解決のために取り組んでいる、団地再生事業「さとづくり48」プロジェクトについて、地域コミュニティの形成に関する本府の今後の取組の参考とするため、調査する。

【調査内容】

「さとづくり48」プロジェクトは、西部ガス株式会社・東邦レオ株式会社が宗像市と連携協定を結び、取り組んでいる団地再生事業であり、生活利便施設「ひのさと48」を拠点に、地域コミュニティの形成に貢献している。団地の既存棟を改修した生活利便施設「ひのさと48」は、地域に開かれたコミュニティスペースを展開しており、許可保育園、児童発達支援事業所、コミュニティカフェ、ビール醸成所、Co-Doingスペース等が入居している。特に、Co-Doingスペースの「さとのひWONDER BASE」は、福岡県サテライトオフィス等開設支援事業補助金を活用して整備された場所であり、「さとづくり48」の活動の中で、新たな雇用の促進や県外からの移住促進等を目指した運用を行っている。

「さとづくり48」プロジェクトは「Sustainable Community(サステイナブル コミュニティ)」をコンセプトとしている。これはコミュニティを単純な人の繋がりとして捉えるのではなく、コミュニティが続いていくための環境(社会システム)づくりを表しており、それらを実現するために①Culture(文化・日の里らしさ)②Work(仕事・職)③Education(地域ならではの教育)④Mobility(移動手段)⑤Food&Energy(地産地消)⑥Relocation(家・住み替え)の6つのテーマを掲げ、拠点から街全体に広がることを目指しているとのことであった。

【主な質問事項】

- ・各施設が「ひのさと48」に入居した経過について
- ・他の場所におけるコミュニティの形成について
- ・入居率について
- ・家賃について など



調査事項を聴取



ひのさと48を視察

2 福岡県警察〔於：福岡県議会〕（福岡県福岡市）

【調査事項】

VR技術を活用した事件事故の捜査について

【調査目的】

福岡県警察において導入しているVR技術を活用した捜査について、本府の今後の取組の参考とするため、調査する。

【調査内容】

福岡県警察では、VRの画像技術を利用し、事件現場の映像を立体的に保存し、事件現場を後日離れた場所でも疑似体験できるシステムを令和4年4月より導入している。福岡県警察によると刑事事件の現場のVR化は全国初とのことである。

事件現場では、犯人と犯罪を証明するための客観証拠を収集するため、綿密な現場の鑑識活動や検証等を行う必要がある。多くの捜査員や鑑識係員で、写真撮影や計測等を行い、警察署において、それらの資料を基にした図面の作成や膨大な写真の印刷をし、捜査書類を作成するのが一般的であるが、今回、導入された現場画像VR化システムは、1人の捜査員が撮影機器を装着し現場を歩くことで写真等を立体的な3Dのデータとして半永久的に現場を残すことができるというものである。

撮影機器は、歩行しながら現場全体を記録する可搬型の撮影機と、狭い空間を記録するハンディ型の撮影機からなり、専用のゴーグルを装着することで仮想現実の空間で再現された現場に入ることができる。

これにより、警察官が現場に何度も足を踏み入れる必要がなくなり、現場に残された証拠等を破壊するリスクも減らすことができるとともに、事件が長期化したことで、老朽化し取り壊された建物についても、仮想現実の空間で現場確認が可能になるとのことであった。

【主な質問事項】

- ・導入にあたっての捜査員への訓練等について
- ・導入による効果について
- ・実際に使用した事例について
- ・機器の精度について など



調査事項を聴取



VR技術の体験

3 福岡県議会（福岡県福岡市）

【調査事項】

庁舎内における福岡県の魅力発信について

【調査目的】

庁舎を活用した福岡県の魅力発信方法等について、本府の今後の取組の参考とするため、調査する。

【調査内容】

福岡県では、県庁1階ロビーを県政PRのために活用しているほか、県庁最上階11階を物産観光展示室「福岡よかもんひろば」として開放している。

県政PRのための1階ロビー展は、平成26年度より開始された。ロビーは、①ランチタイム能楽公演や高校生による手話パフォーマンスなどのイベント②県産農林水産物や六次化商品コンクール受賞商品などの物産販売③大相撲九州場所やラグビーワールドカップなどの県政企画展示④ふくおか障がい児者美術展やポスターコンクールなどの作品展示など、様々な形で利用されている。

最上階11階の物産観光展示室は、様々な県産品を一堂に集め、観光情報とともに来庁者に紹介することを目的として昭和56年に開設された。しかし、開設から30年以上が経過し、県政を取り巻く情勢や情報発信のあり方・求められる機能の変化とともに設備や展示内容に課題が発生したことから、大規模な改修を行い平成27年4月に福岡よかもんひろばとしてリニューアルオープンした。福岡よかもんひろばは県産品への理解促進や観光情報の発信を目的とする「南棟展示室」と来場者の憩いの場や市町村等のイベントとしても活用される「北棟ラウンジ」から構成されている。令和3年度の来場者数はリニューアル前の平成26年度に比べ、24倍の約9万人に増加しているとのことであった。

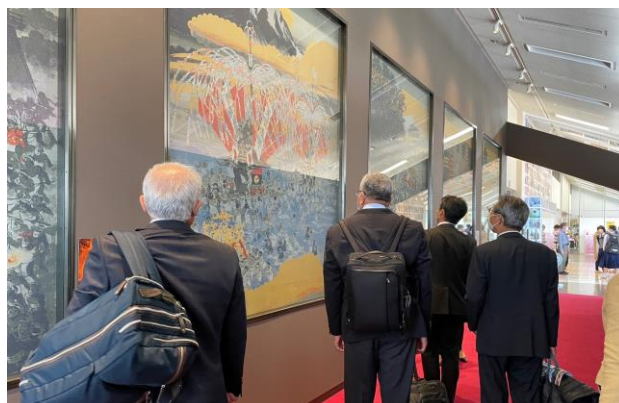
また福岡県について多くの人に理解を深めてもらうため、県庁ロビーと福岡よかもんひろばをコースに含めた案内員による説明付きの県庁見学を行っているとのことであった。

【主な質問事項】

- ・ 1階ロビー展の展示期間について
- ・ 福岡よかもんひろばリニューアルの経過について
- ・ 来場者数について
- ・ 展示等による効果について



調査事項を聴取



福岡よかもんひろば等を視察